

この見た目だけはいい

悪役令嬢の

カラダを

入れ替わって

乗っ取ります。

R-18
TSF

作・絵：ほんげしろう



すげー!!

あの新しい
王妃はパン屋の
娘だって噂だぜ

まじかよ



おめでとう!!

おめでとう——!!



キスだア

キャ——!!

しかし、王子って
以前は別の婚約者
いなかったか?

確かに、
あの貴族の娘
どうなったんだ?



国民の皆が喜び、
新郎新婦を祝った。

この日、マグリス王国の
テンス王子が結婚した。

皆が祝っている中、
この娘だけは
王子の結婚に
納得できなかった。



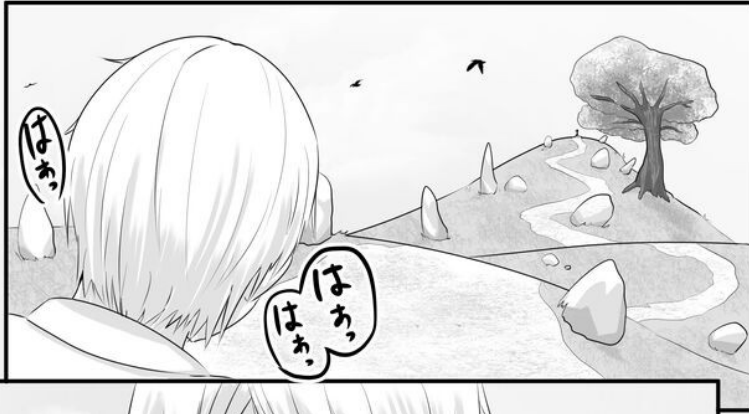
エルバイン・H・ソフィアナ。

マギリス王国きつての貴族
エルバイン家の一人娘。

そしてマギリス王国の第一王子
アルヴァン王子の元婚約者。

ソフィアナは
王子と結婚し、
王妃になることを
夢見ていた。

数年前



はやくこっちに
来てみろよ!!

おい、
ハリス!!



マグリス王国
第一王子
テンス(10歳)



マグリス王国
第二王子
ハリス(8歳)



ハリスさま!

エルバイン家
ソフィアナ(10)



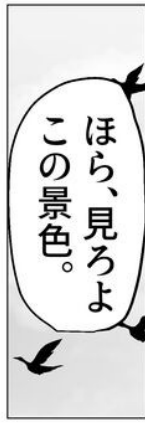


わあ、綺麗な地平線ですわね

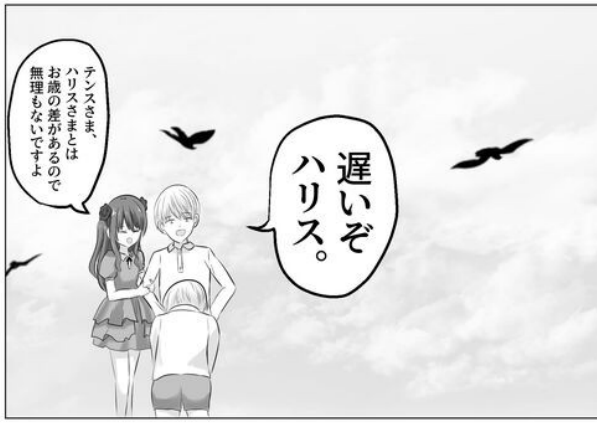
海がずっと続いている。

この海を越えた先にはもっとたくさんの国があるんだぜ

……勉強になります兄上

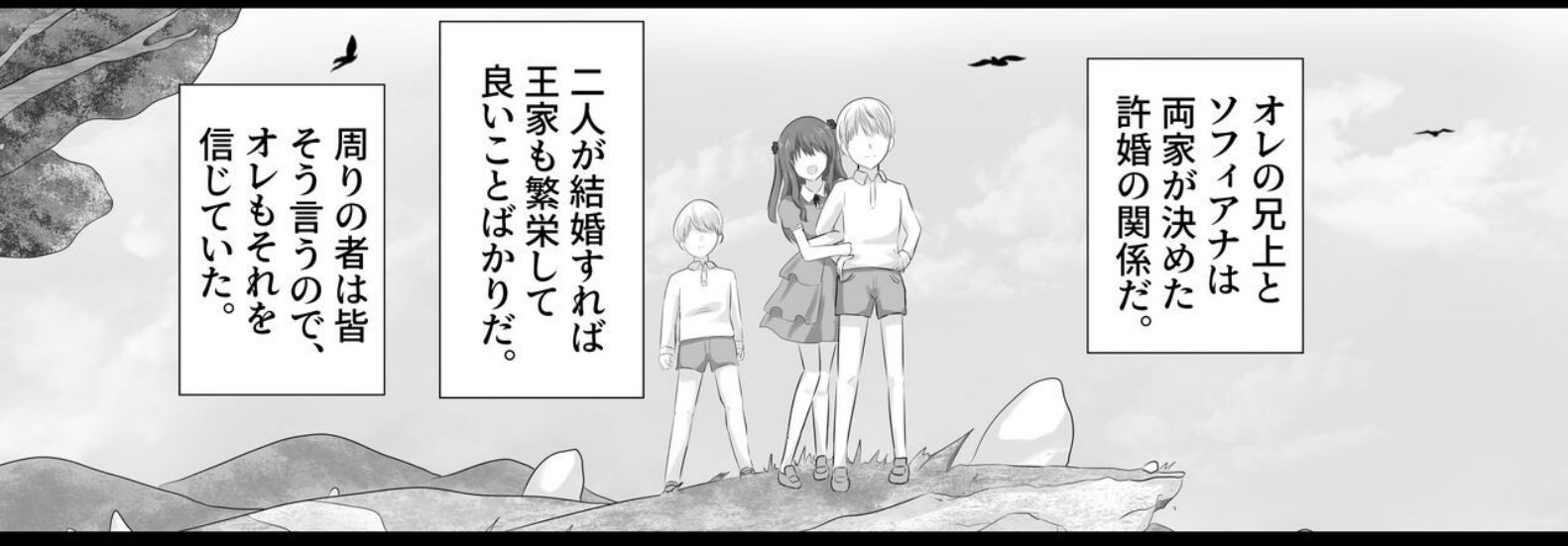


ほら、見ろよこの景色。



遅いぞハリス。

テンスさま、ハリスさまとはお歳の差があるので無理もないですよ



オレの兄上とソフィアナは両家が決めた許婚の関係だ。

二人が結婚すれば王家も繁栄して良いことばかりだ。

周りの者は皆そう言うので、オレもそれを信じていた。



しかし、現実はそのようではなかった。

俺はエルバイン家の令嬢との婚約を破棄し

ここにいるマリーと婚約することにした

突然兄上は平民の女を妻に迎えると言い始めたのだ。



オレにはわからなかった

兄上が何を考えているのか

ざわ ざわ ざわ



兄上、
どうしてなの
でしょうか！



どうして
ソフィアナとの
婚約を破棄
したのですか！

彼女のどこが
駄目なのですか！！

俺はマリーを
好きになった。

なんだよ
それ！

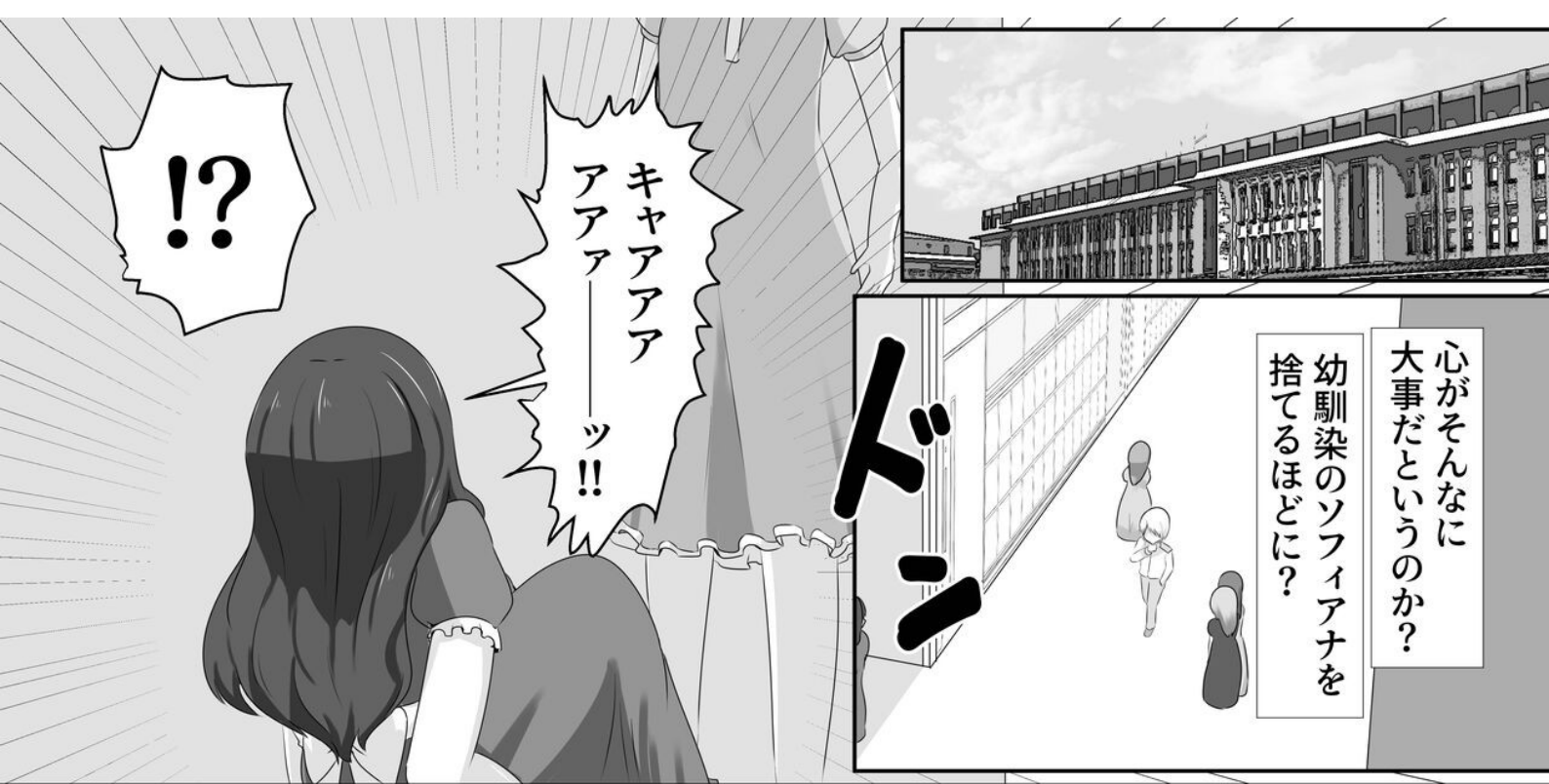
ソフィアナの
ことは…

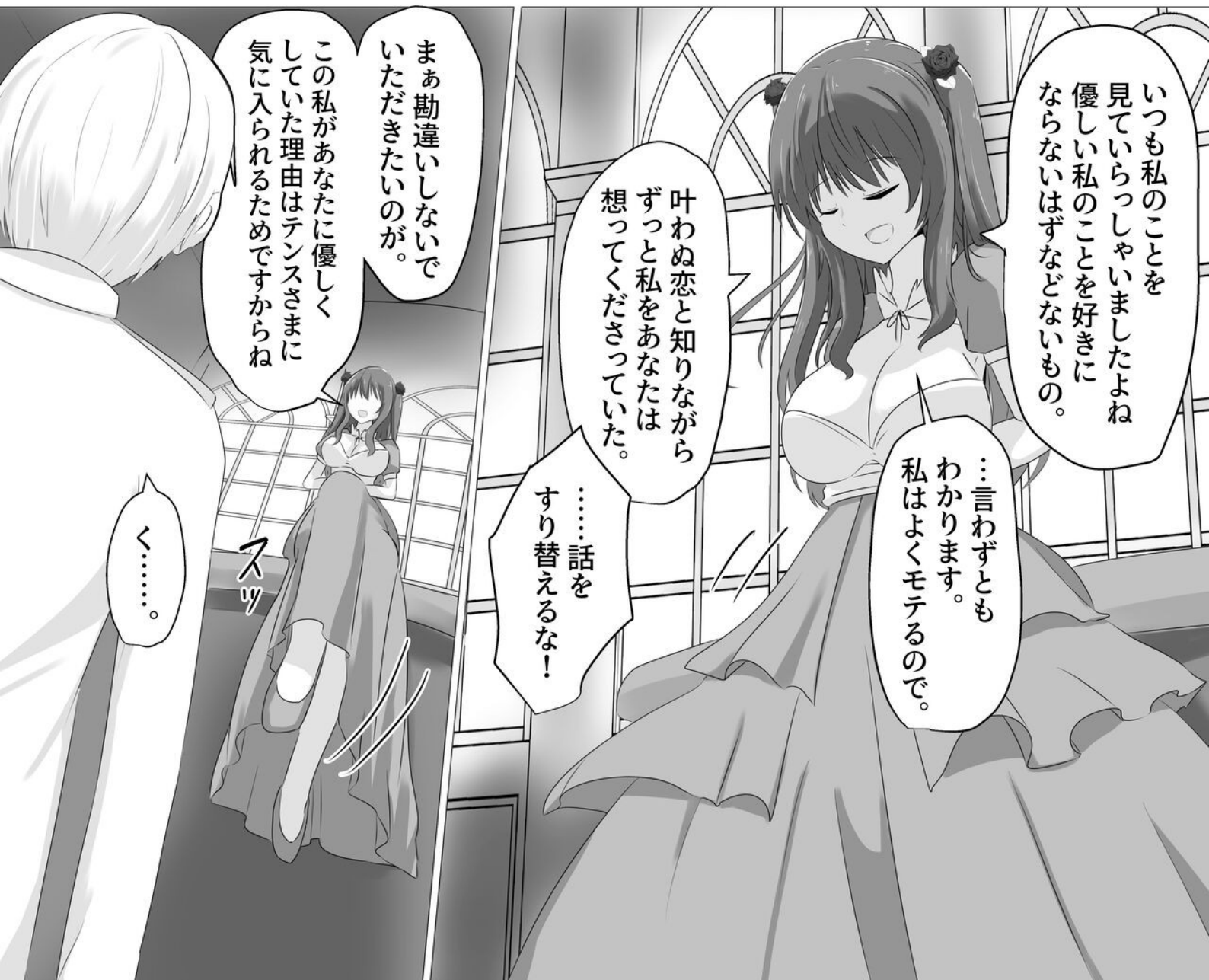
じゃあ
教えてやる



心だ。

本当に
大事なのは
外面じゃない。







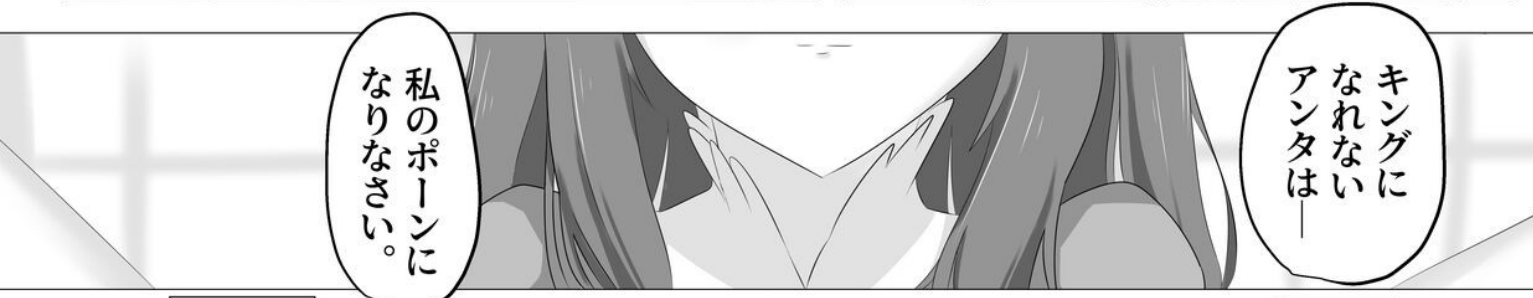
——仮初だとしても、
優しく接してきたはずの
あなたにまで悪者扱い
されてしまうとは…

今まであなたに
優しくして
……損したわ。

…あなたが協力さえ
してくれば——
私はテンスさまを
取り返すことができる

ソフィアナ…!?
何を……

いい匂いが
する——。



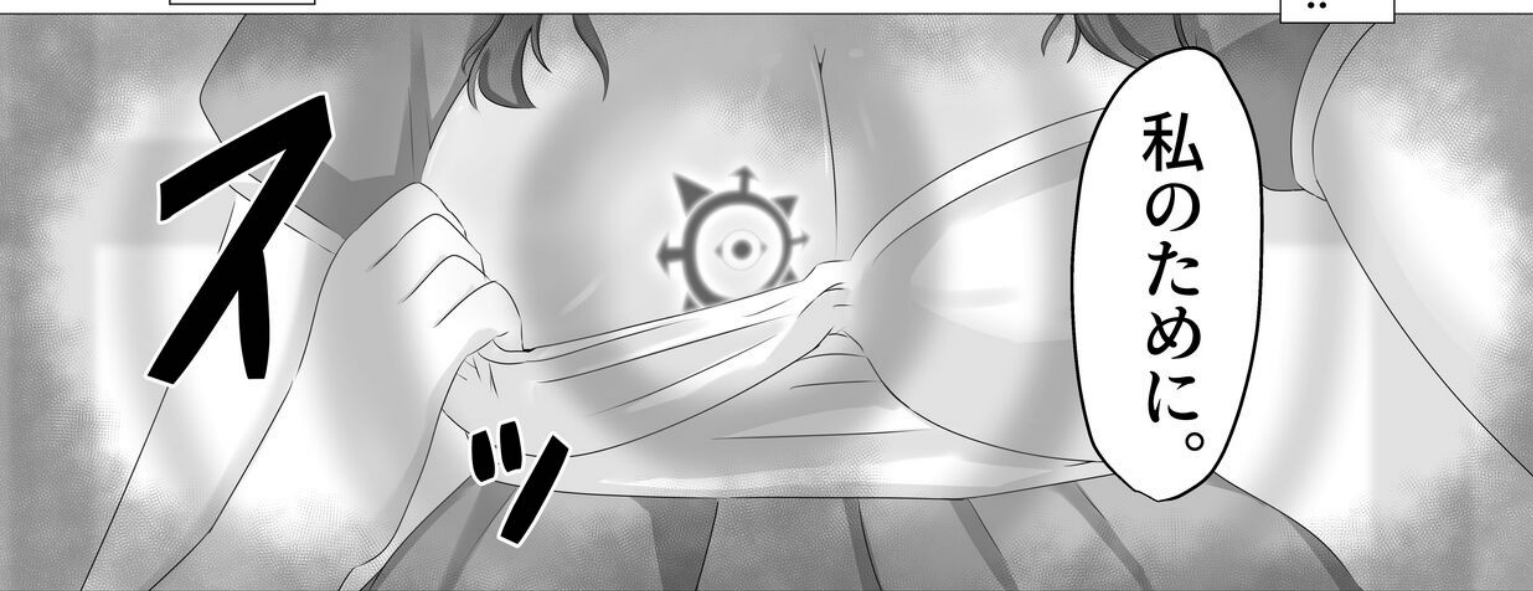
キングに
なれない
アンタは——

私のポーンに
なりなさい。



なんだ
この感覚…!!

身体が
言うことを
聞かない!



私のために。

ス
ッ



しまった
これは…

魔術…



——ハリス…!!
ハリス…!!

俺の意識が戻ったのは
ベッドの上だった。

操られていたといえ
俺はマリリーには
詫びねばならない。

すまなかった…

いえ、ハリスさまは
操られていただけ。

私は魔力を
感じ取れるので
すぐにわかりました。

それよりも
ハリスさまが
元に戻られて
安心しましたわ。

…さすがは兄上が
選んだ女、心が広い。
…と、この時感じた。

俺はソフィアナに操られ、
兄上と婚約者のマリリーの
婚約に関する邪魔に
加担させられていたのだ。

俺には操られていた
時の記憶がある。
特にマリリーに対しては
無礼を働いてしまった。

ハリス、お前は
しばらく学校は
休むように。

はい。

安静にしなれば
魔術の影響で
何が起るかわからん。

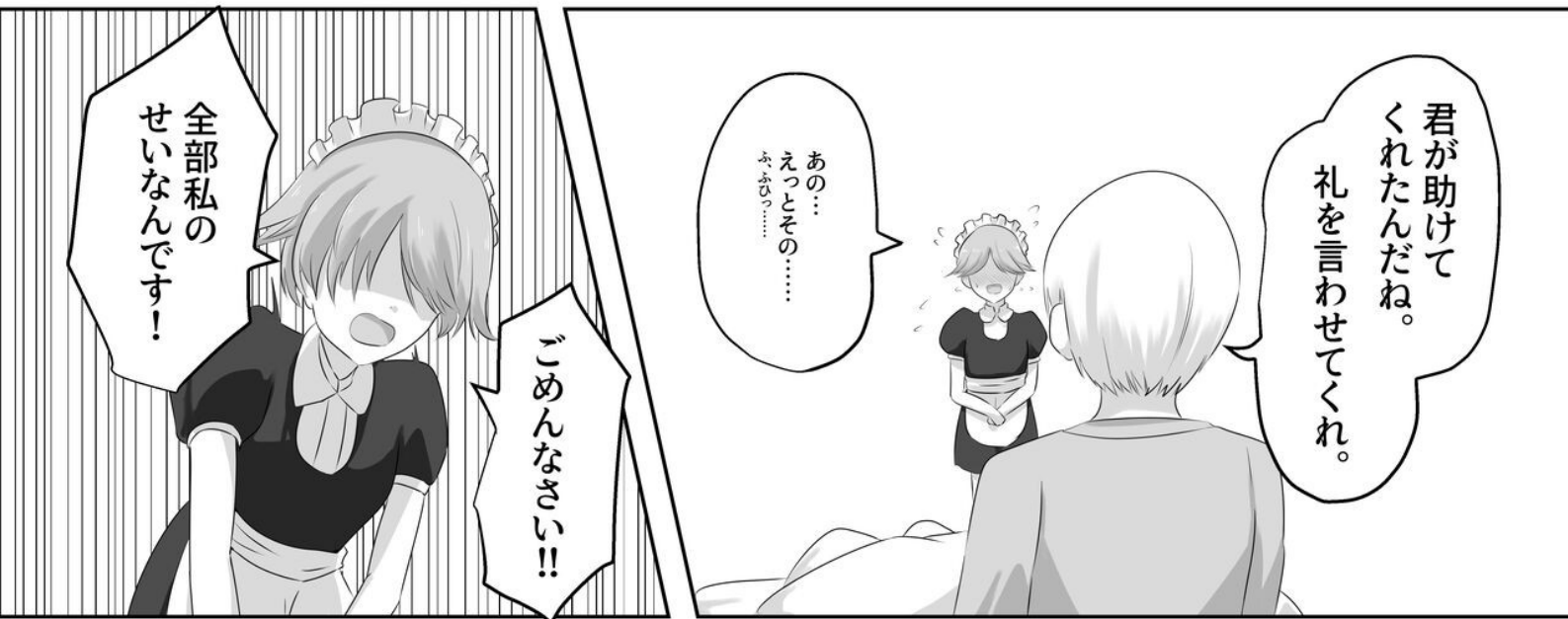
そこを見ると、
パツとしない印象の
メイドがいた。

俺が操られている時に
…彼女とは何度か
会った記憶がある。

ソフィアナの家の
専属メイドの一人
クーナ・マジヨリーだ。

それと…

あそこにいる
メイドに礼を
言うんだぞ。

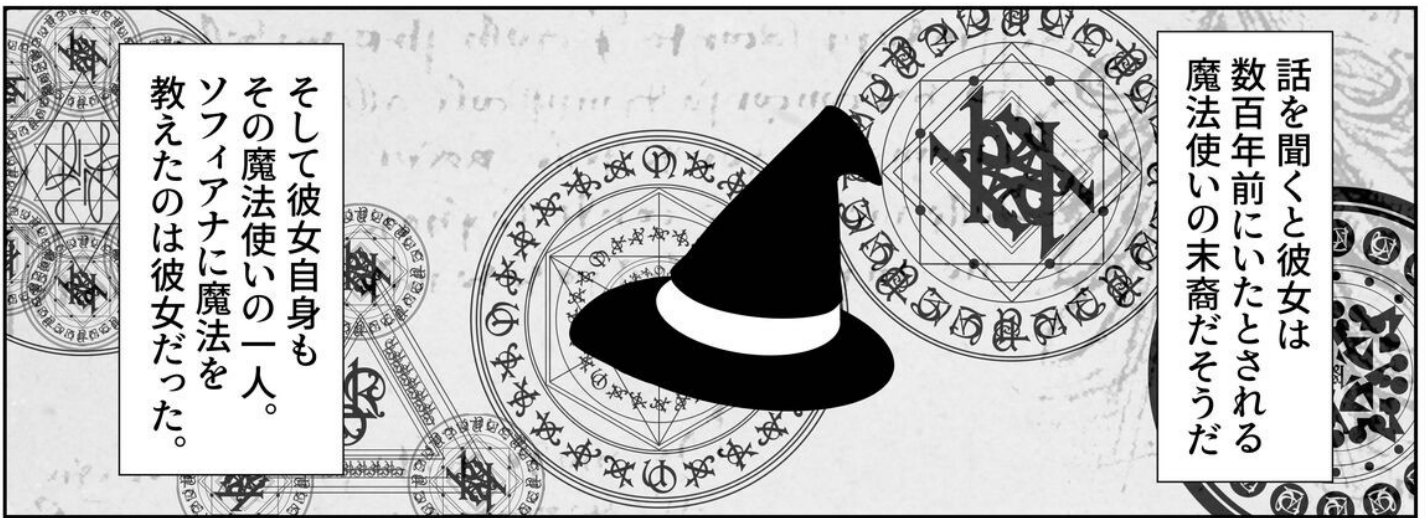


全部私の
せいなんです！

ごめんなさい！！

あの…
えっとその…
ふふふ…

君が助けて
くれたんだね。
礼を言わせてくれ。



そして彼女自身も
その魔法使いの一人。
ソフィアナに魔法を
教えたのは彼女だった。

話を聞くと彼女は
数百年前にいたとされる
魔法使いの末裔だそうだ



彼女は毎日、罪悪感からか
ソフィアナの目を盗んで
俺の所に見舞いに来ては
毎日小一時間ほど話をした。

それから、俺たちは
すぐに仲良くなった。
彼女から聞ける魔法の話は
とても興味深いモノだった。

俺の休学期間が終わってからも、
そして兄上たちが結婚してからも
俺たちの関係は続いた。

兄上の結婚パレードの日。
街に出てきていた
ソフィアナとクーナを
俺は偶然見かけた。

……ソフィアナは
兄上の結婚パレードを見て
相当苛立っているようだった。

二人が一緒に路地裏に
入っていくのが見えたので
尾行してみると、クーナが
ソフィアナに叱責されていた。

あれもこれも
全部中途半端、失敗。
アナタ自分の
立場わかってる？

ふ……ふひっ……
すみません……

言い返すこともできず
謝ることしかしないクーナ。

まずその笑い方、
気味が悪いわ。

やめなさい、それ。

ひっ……
すみません！
すみません！！

クーナはソフィアナの
支配下に置かれていた。

俺は思った。

洗脳を解いてくれた
クーナに恩返しを。

俺はクーナを
幸せにしてやりたい。

少しでも俺がクーナの
心の支えになれば……

まずはクーナの
ことをよく知って

もっと仲良く……
なりたい!!



クーナの一族は
精神操作を得意とする
魔法使いの一族で

魔法が失われた
現代でも数少ない
伝承者にあたる。



今日はどんな
魔法を教えて
くれるんだ!?

ええと……
ソフィアナさまに
お教えしたものの
洗脳魔法など
いかがでしょうか。
あと他人と肉体を
取り換える魔法とか…



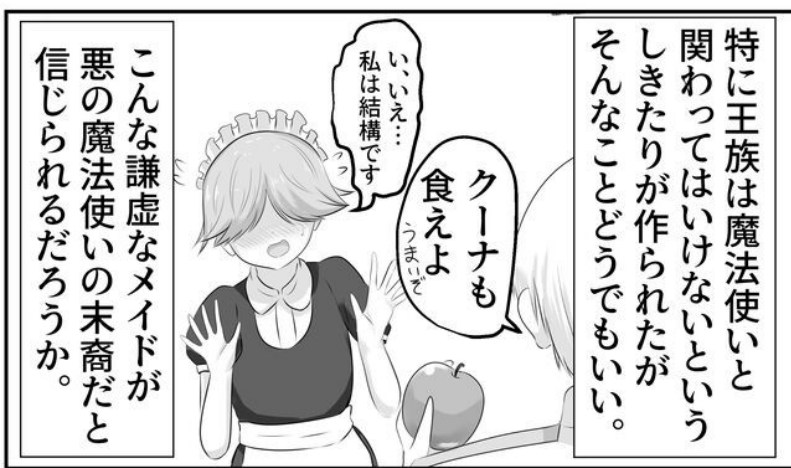
二百年前、魔法使いによって
王国は火の海に変えられた。
魔法の力は強大で危険なのだ。

それ以来魔法は禁忌として
扱われるようになり、
限られた貴族や王族にしか、
その存在を知る者はいない。



…クーナを雇うには
ソフィアナの家の承諾が
必要になってくる。

今の王家とあの家の関係を
考えれば交渉は難しいだろう。



特に王族は魔法使いと
関わってはいけないという
しきたりが作られたが
そんなことどうでもいい。

クーナも
食べよ
いいえ…
私は結構です

こんな謙虚なメイドが
悪の魔法使いの末裔だと
信じられるだろうか。

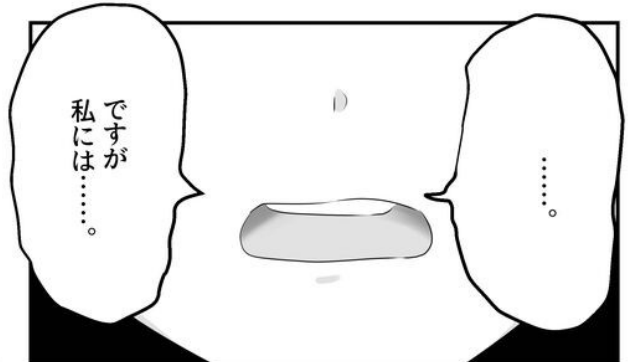
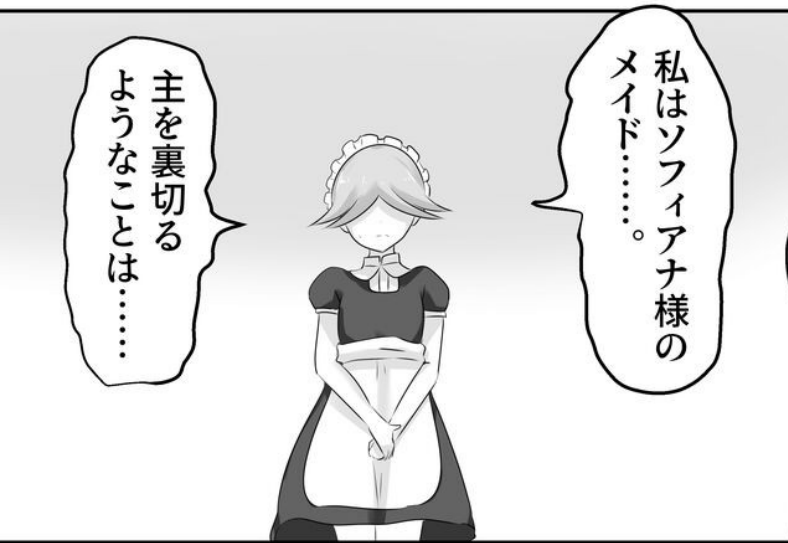


なあ、クーナ

うちで
働かないか?

え…ふふひっ
う、嬉しいのですが
それはちょっと…

難しいかと…



ある日

入っていいぞ

コン
コン

怪我をした
クリーナがやってきた。

クリーナが怪我をしている
ことはよくあったのだが、
今日の怪我はいつもより
かなり重傷だった。



どうしたんだ
その腕!

えと...
転んで擦りむいて
しまった...
ふひっ...

失礼します

ズ
ツ

ソフィアナに
やられたんだな?

い...いえっ。
お嬢様はそんな...

こんなことがずっと
続いているのか?

このままで
本当にいいのか? どうすれば
助けられる?

俺にできることは
何かないのか

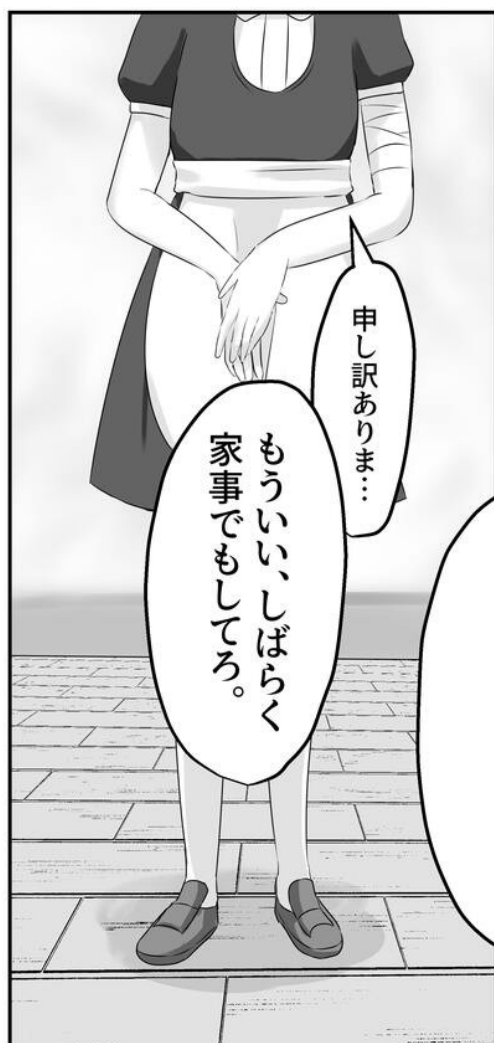
とにかくクリーナを
ソフィアナから
解放しなくては

俺が操られている時、
ソフィアナがメイドに
手をあげているのを見た。

...ソフィアナは自分が
気に入らないことがあるとすぐに
目下の人間に手をあげるのだ。







申し訳ありま...

もういい、しばらく
家事でもしてろ。

どうしてお前は
そんなに役に立たない？



テンスが結婚してから
私の地位は下がる一方!!

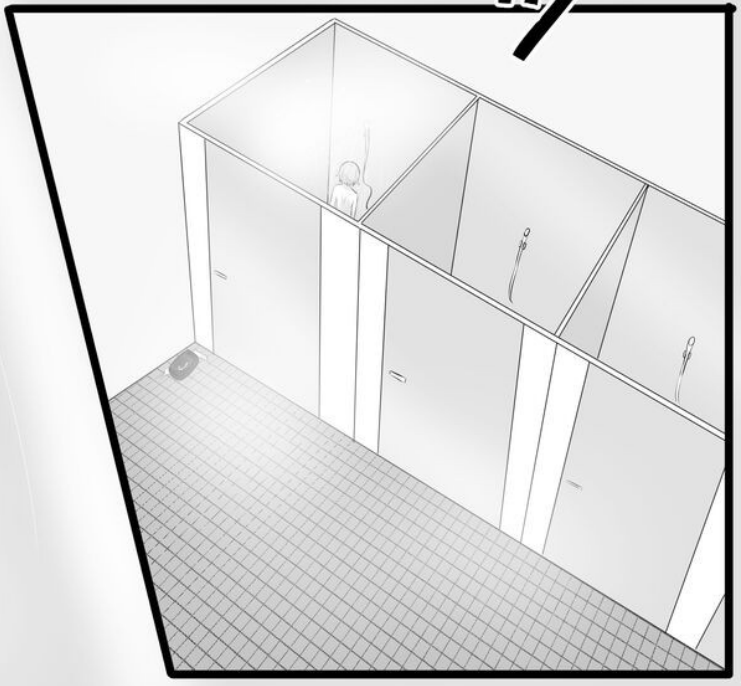
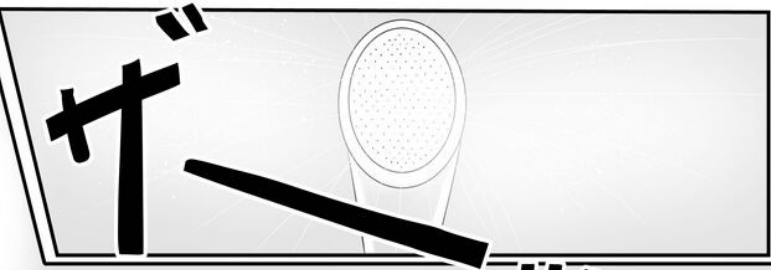
王国を半壊に追い込んだ
魔女の末裔だから
お前を飼ってやってるのに。

俺はソフィアナの屋敷に
潜入することに成功した。

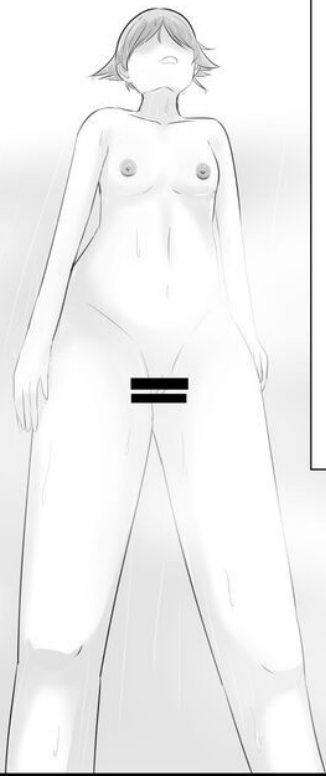
かしこまりました。

俺はクーナと
入れ替わったのだ。

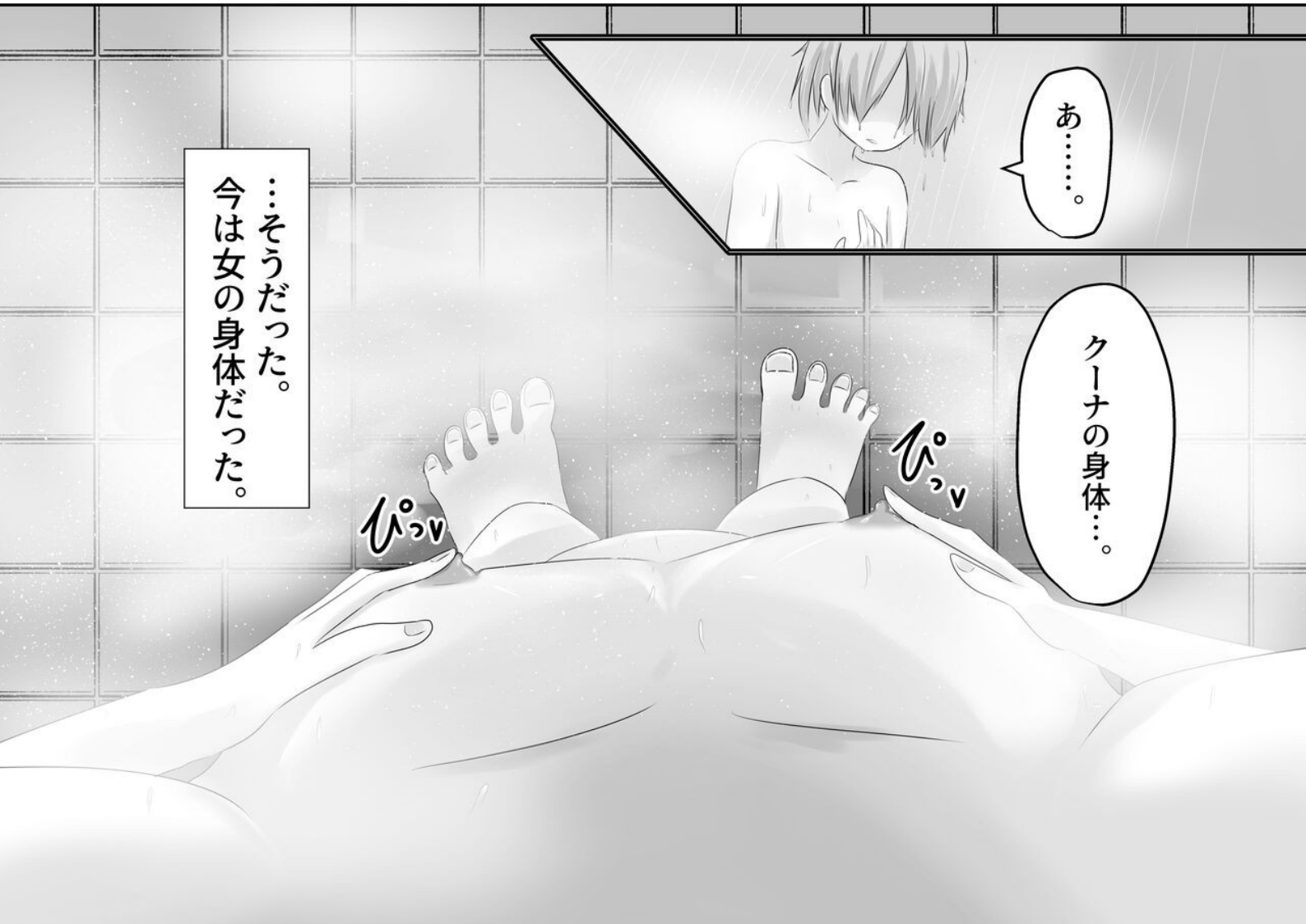




掃除が終わるまで
3時間もかかってしまった。



…ソフィアナの家は広い。



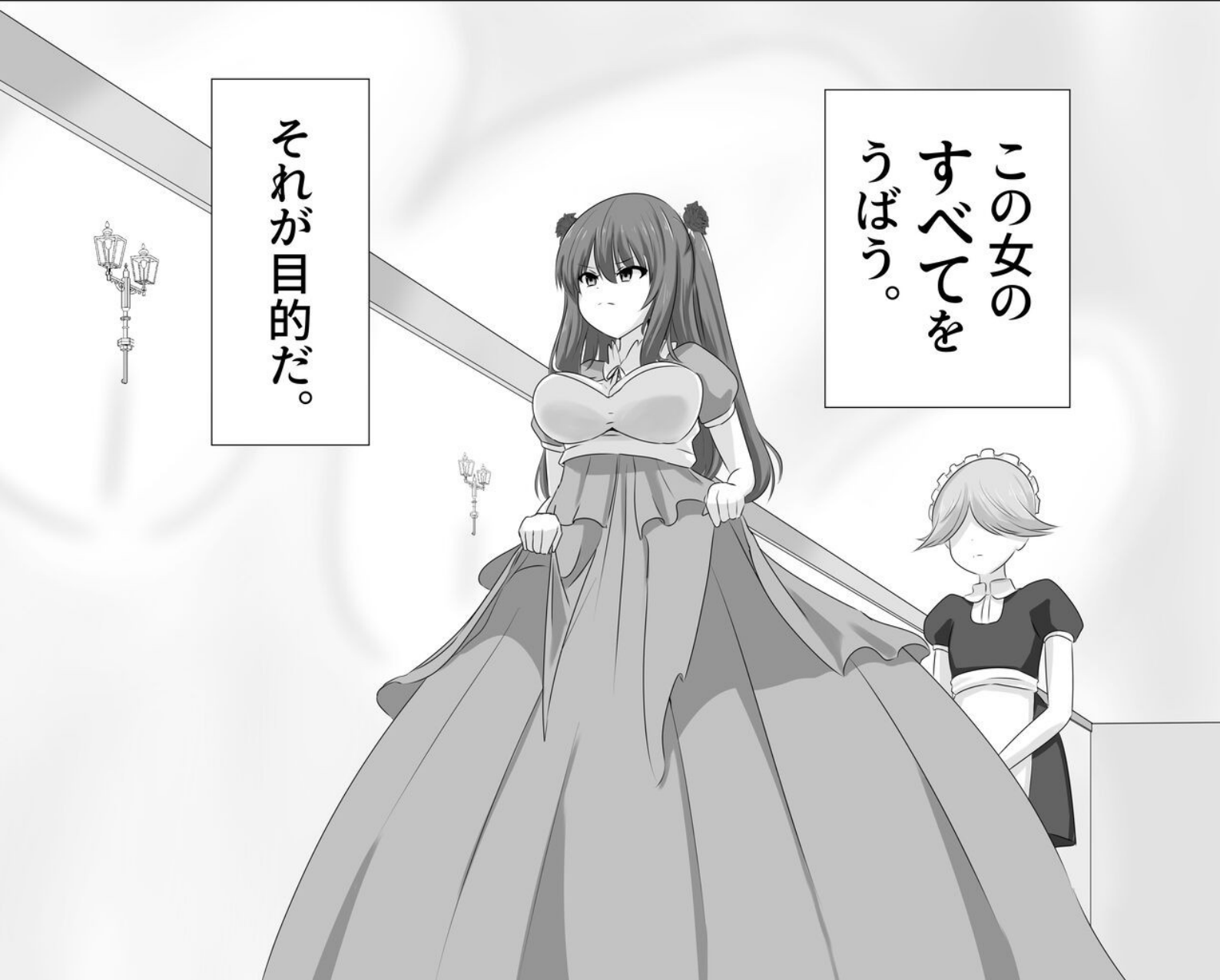
あ……。

…そうだった。
今は女の身体だった。

クーナの身体……。

ひっ

ひっ



他人と身体を
入れ替える方法

それは術者が自分と
相手の呪紋に触れる
ことで行うことができる。

人間が魔法を使うと
体に刻まれるのが『呪紋』。
これは魔力の一番集中する
箇所が発現するのだが、
その箇所は人によって異なる。

強力な魔法である程に
使用時に呪紋を介した
手順を踏まねばならない。
ソフィアナの呪紋は右胸に
あることは確認済みだ。



この屋敷に
住み込んで働けば
チャンスは自ずと
やってくる。



おはよう
ございます。



着替えよ!!
そんなのも
わからないの?!

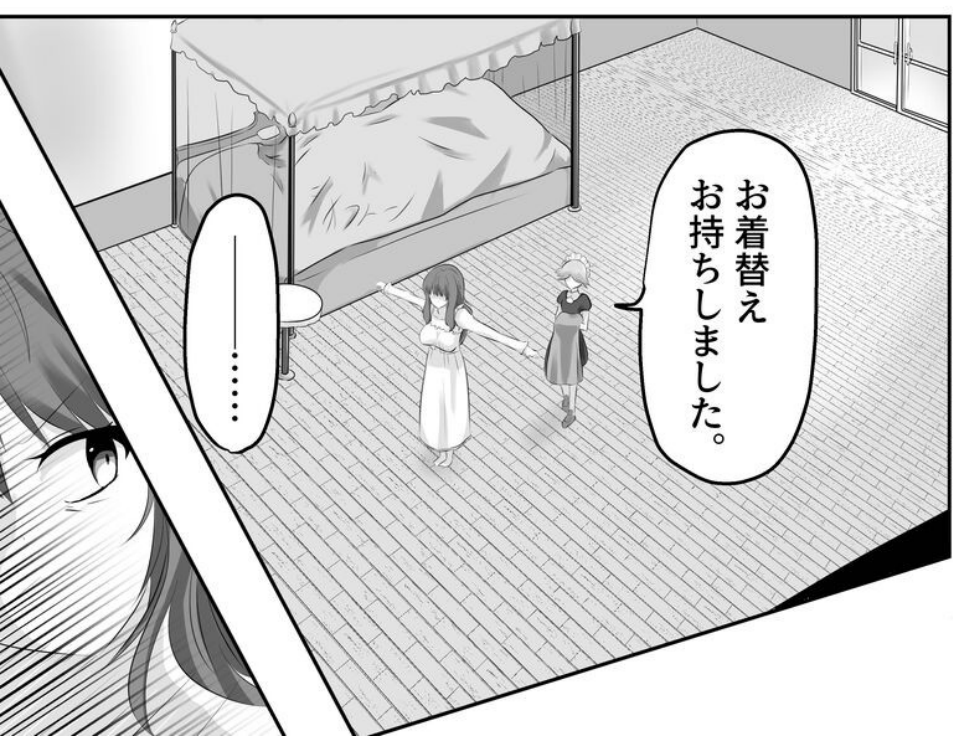
あ…あの、
お嬢様?



そんなの俺に
わかるか!!

お着替え
お持ちしました。

……





何か不満でも
あるのかしら？

何その顔。

ト
サ
ツ



パ
ン



魔女のアンタを
拾ってやったのは私。

私がご主人様。
…わかる？



今のアンタの目。
あの女と同じ！

なぜアンタみたいなのが
私を蔑むように見るの?!



魔法を使えるから
生かしてあげてるけど
命令もろくに果たして
こないなら捨てようかしら。

本来アンタみたいなのは
生きる価値すらない
汚らしい血の人間。

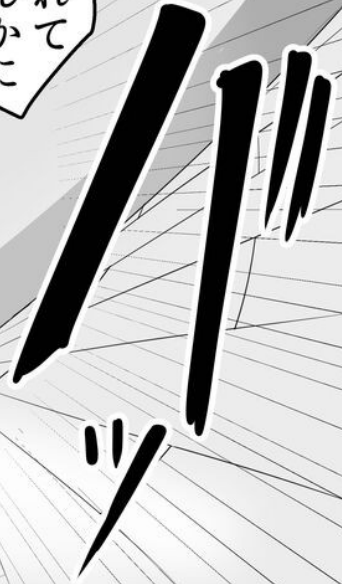


この汚らわしい
魔女の末裔が!!

アンタみたいなのは
みんな死ねばいいのよ!

価値など
ないというのに!

高貴な血が流れて
いないゴミなんか



…また懲罰室に
閉じ込めるわよ。

…何?
何なの?

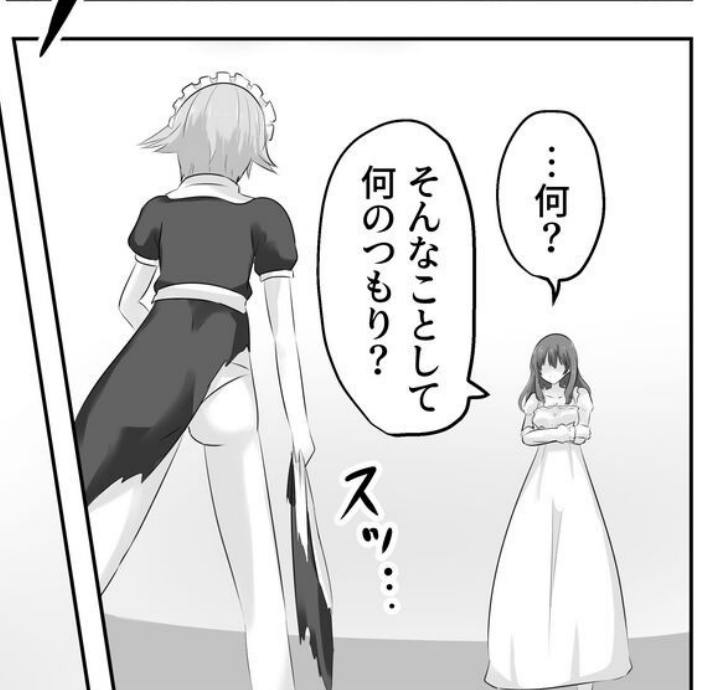
さっさとカラダを
いただくとするか。

コイツには
このカラダは
もったいない。

何よその目…
…その態度。



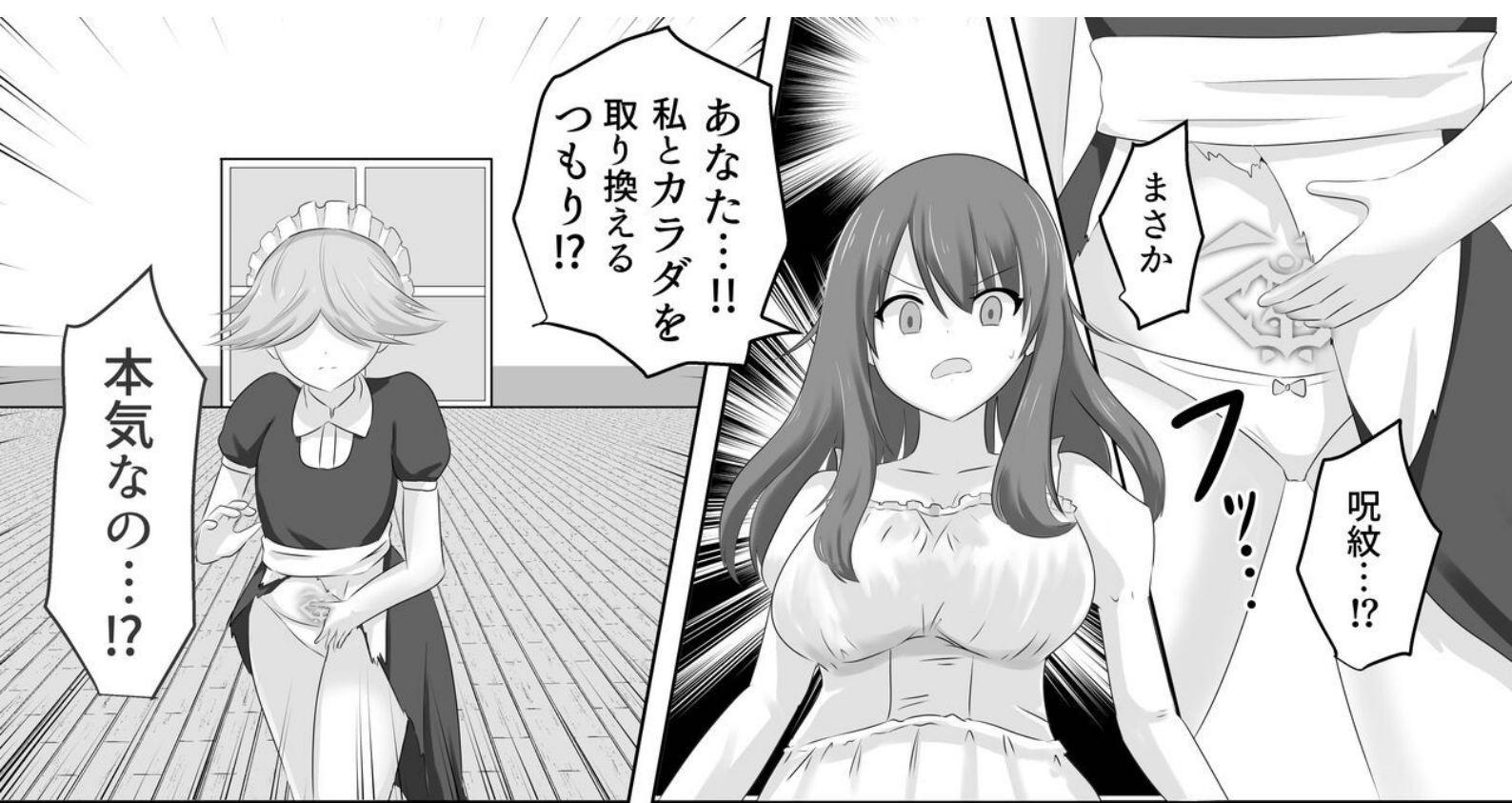
— 確信した



そんなことして
何のつもり?

スツ…

…何?





ガッ
ツ

カラダを...?
お嬢様、お着替えは
終わりましたでしょうか

そんなこと
どうでもいいから
早く助けて!!



びくっ

助けて!!
カラダを
入れ替え
られる!!

お嬢様どうか
いたしましたか?

ドン
ドン



止まらな!!

いやっ
いやっ

カッ

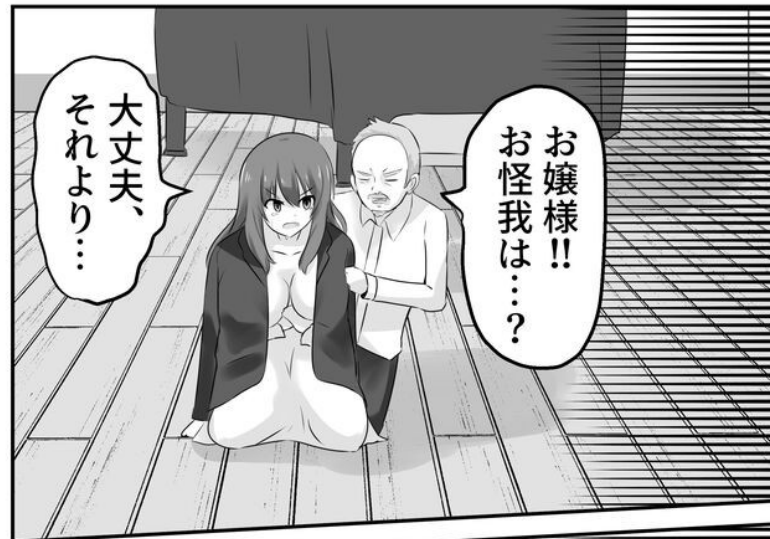
あ、開けますよ
お嬢様!?

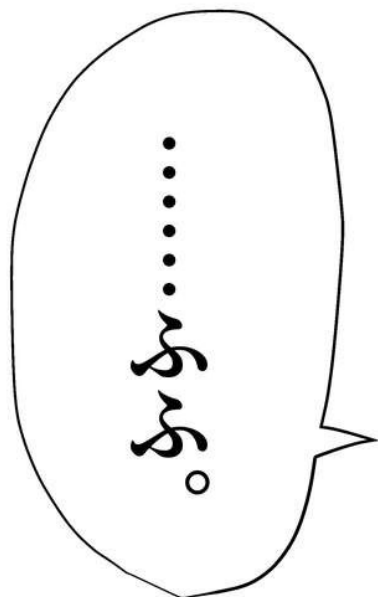


グイッ

じびまっ

びと







やはりこのカラダは美しい。

アレにはもったいない代物だ。



この女、胸が重い。

そして実際に体感した。

ソフィアナの成長を
俺は今まで
近くで見ってきた。



今まで触れること
できなかったものが
今や俺のモノだ。

この美しいカラダは
俺だけのモノ…!!

ソフィアナのモノでも
兄上のモノでもない!



ふんふん……。

このすべすべした肌も、
綺麗な顔も、髪も、胸も。
全部が俺のモノだ!!





もう三日も
こんな所に
閉じ込められて

食事も小皿の
クリームシチューと
バケツト一つだけ!!
ひどすぎるわ!!



ここから
出して!!



全く…頭のどこを
打ったのやら

お父様に言いつけて
アンタなんか
クビにしてやる!!



お嬢様がお許しが
あるまで開放する
わけにはいかん

私がお嬢様だって
ずっと言ってるでしょ!



そういえば貴女に
面会が来ていますよ

どうぞ
こちらへ。

スタッ

スタッ



お嬢様と

ご婚約者の
ハリスさまです。

はあっ!!
婚約……!!?
どういふことよ!!



誰に向かって
言ってる?

私と姿を
取り換えたの
です!

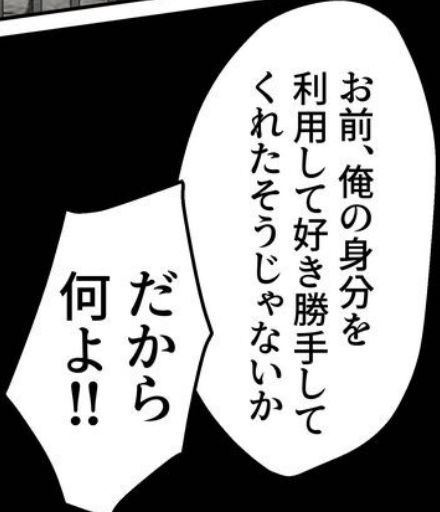


ちょっと!!

では私は
これで

そこにいるのは
偽物のソフィアナで…

ハリスさま
私が本物です!





今度は俺が
お前を操る番だ

俺たちが
まぐわう所を
そこで見てろ

はあ!!
まぐわうっ!!

嘘でしょ!?

私のカラダで
何勝手に…



なっ……!!

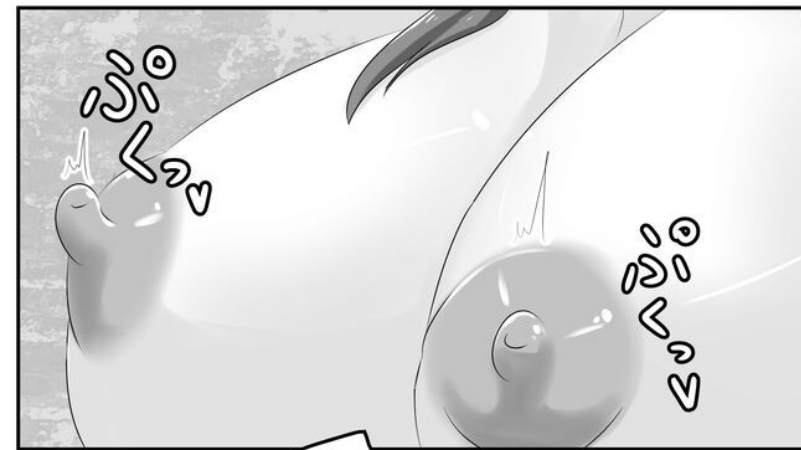


やめて!!
やめてください!!



やめるなんて
もったいない。

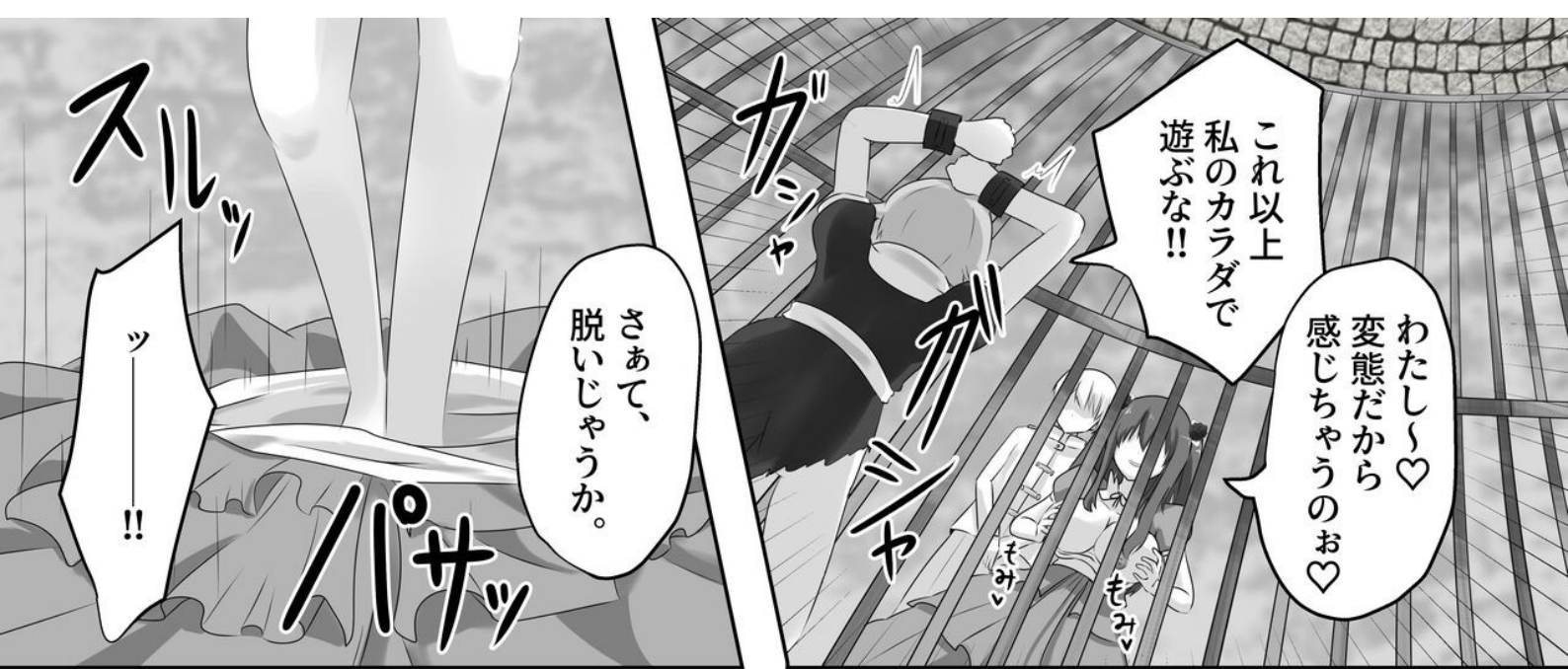
ちら...



っ...!!

お前のカラダは
喜んでるようだが?

それはアンタが
私の身体の中において
勝手に感じてる
だけでしょ!!



これ以上
私のカラダで
遊ぶな!!

わたし♡
変態だから
感じちゃうのお♡

ガ
ニャ
ガ
ニャ

さあて、
脱いじゃうか。

スルッ

ッ
!!

パサッ



ひどい…!!
あんまりだわ!!

俺はこのカラダが
好きだったらしい。

お前の中身が
どう思おうと
関係ない。

お前の中身の方は
温厚で優しい兄貴に
捨てられるほど、
ゴミだったんだよ。

私のことを侮辱

しましたな!?

王子と言えど侮辱は

絶対に許せない!!

お前なんか…

ゴミはゴミだ。

お前などいらん。

な……ッ!!

4ニav

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡



アンタが今
相手しているのは
汚らわしい魔女のメイド!!

そんなのと
まぐわうなど……

何言ってるんだ?

好きだから
こうしてるに
決まってるだろ

まあ……傍から見れば
俺とお前のセックスだが

ハリスさま……!!

お前なんかよりも
クーナの方がずっと
いいやつだ。

!!

また私を
侮辱したわね!!



和カメ
以下の

許せない!!

じゃあいくぞ
クーナ。

聞いてん

は……はいっ!!

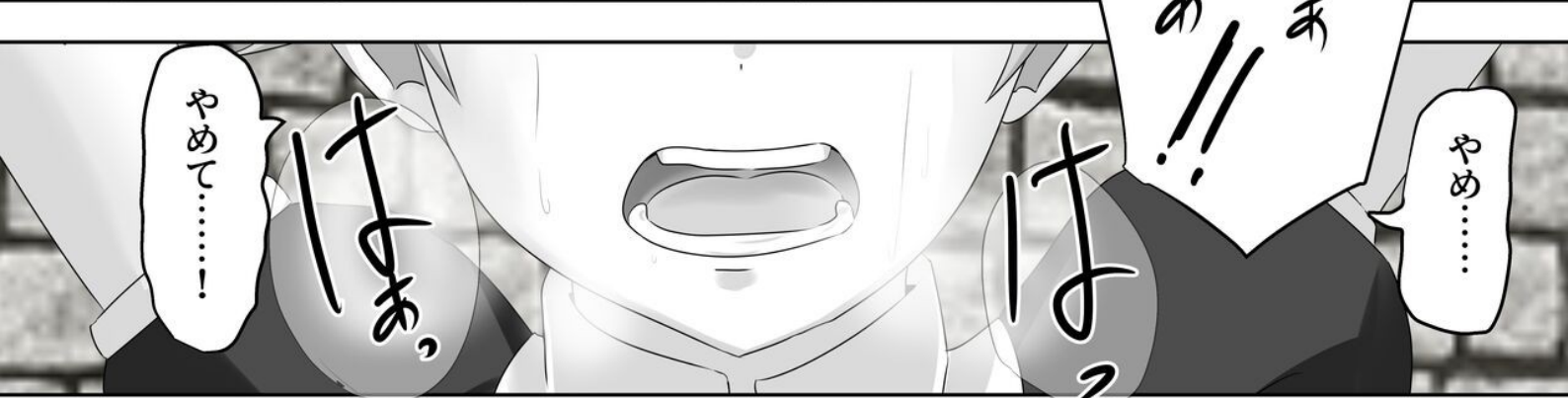
ちよ……

ちよっと!!

くばさ

私処女なのよ!?!
ねえ……!!やめて!!

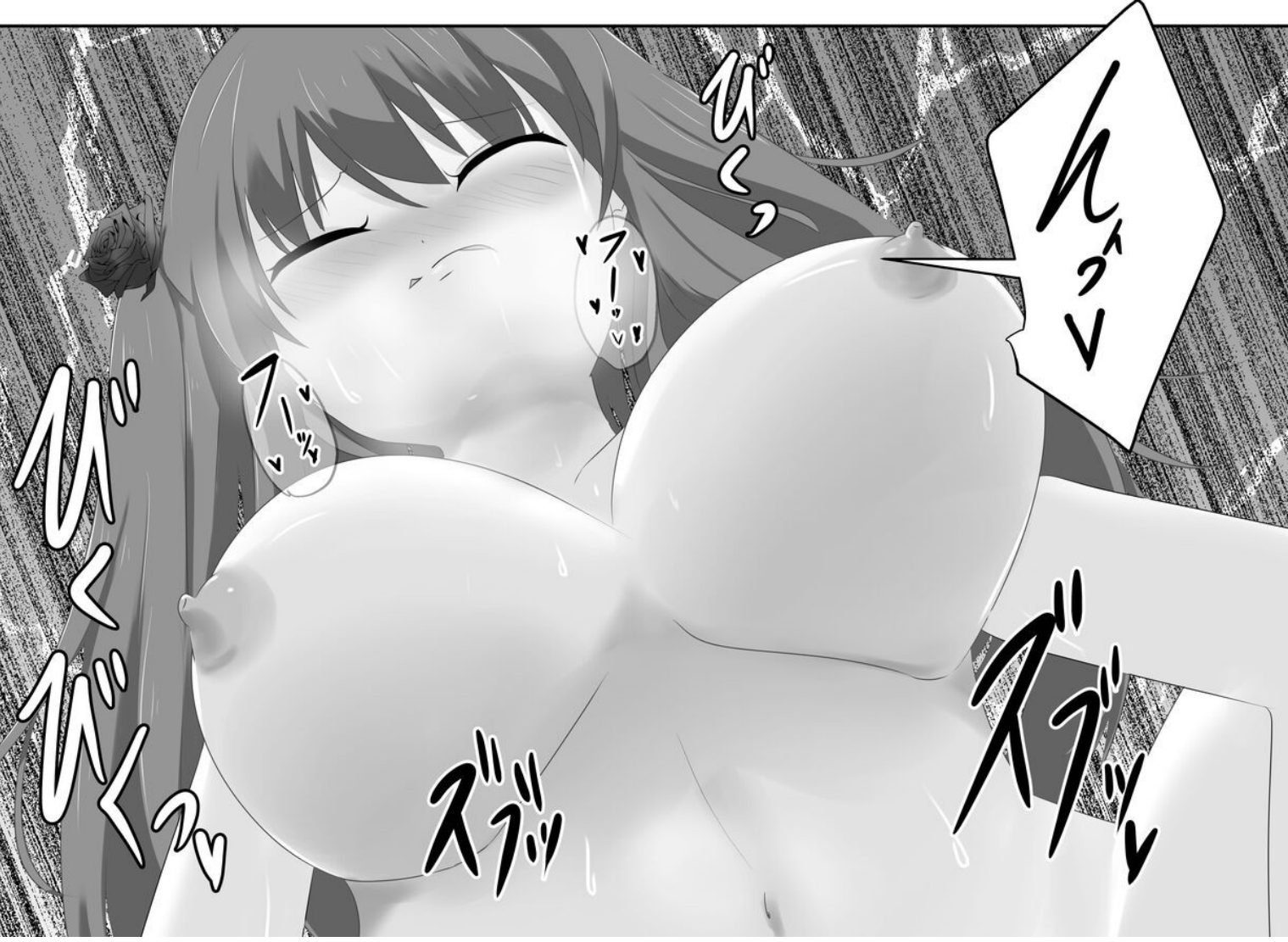
又ツ



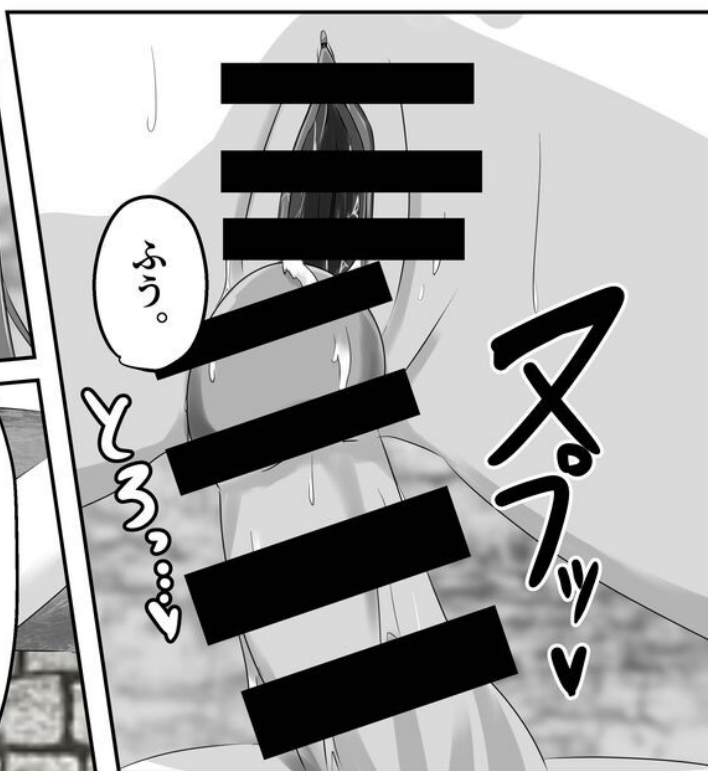


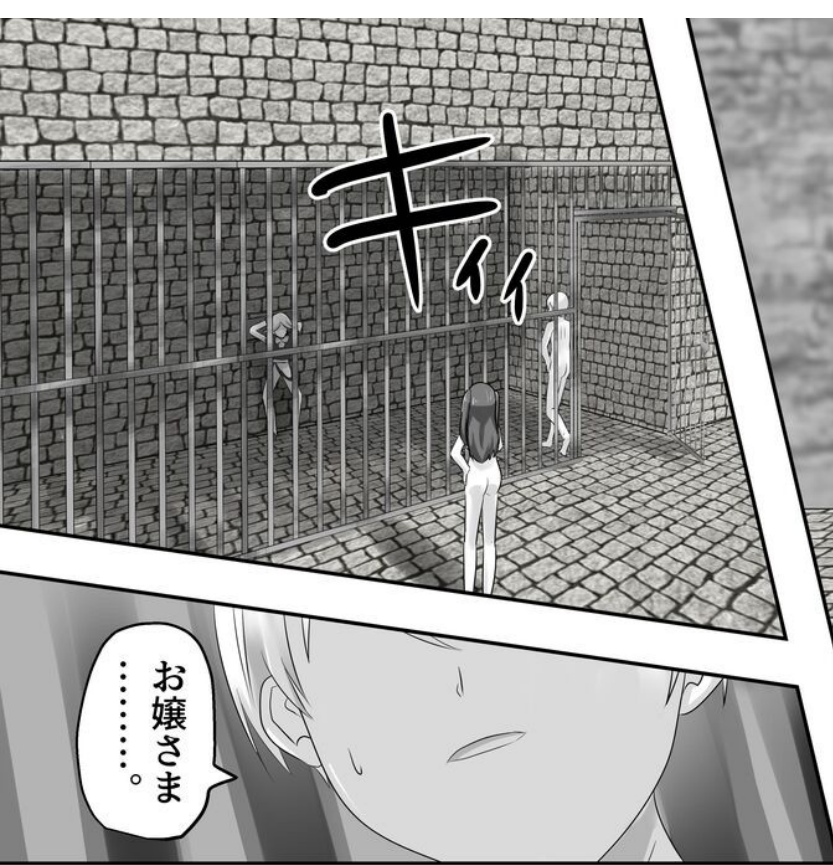
私も何か出そう
ですっ!!

おっおっ



んっ





お嬢さま
.....



は、はい...っ

いってやれ



せめてその
カラダをよこせ!

お前のせいだ!



この裏切り者!!
恩を忘れたのか!

アンタね!!
あの男に余計な
入れ知恵したのは!



私は...ハリスさまの
ことが...好きです。

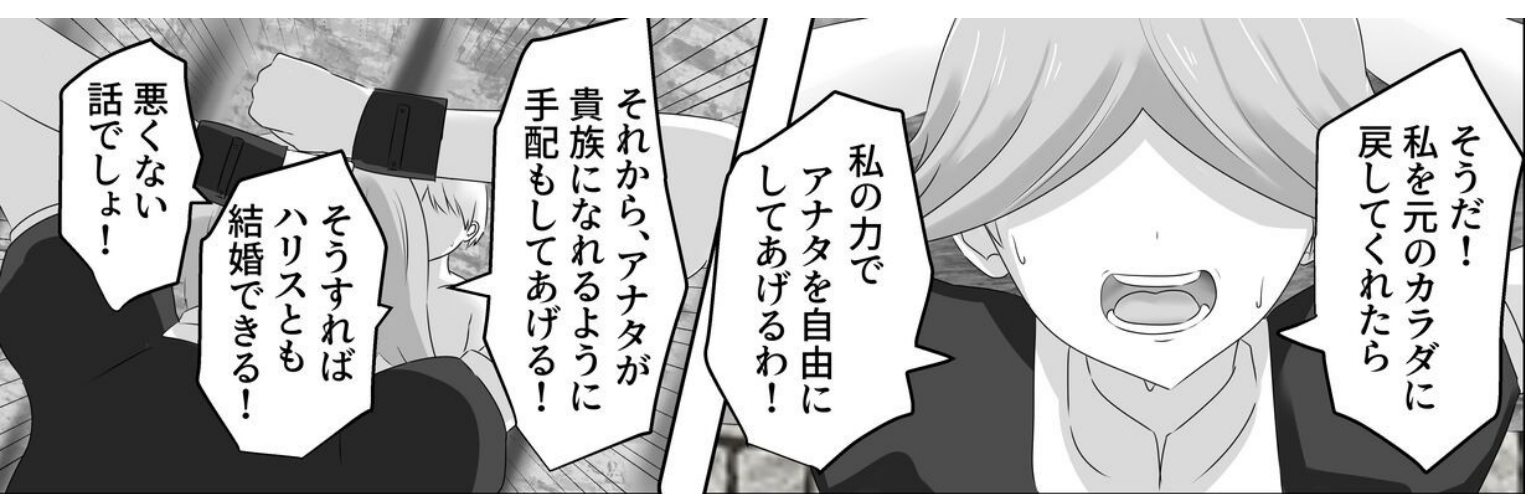
どうでもいいわ!
そんなこと!!

おかげでハリスさまと
出会うことができました。



お嬢様には
私を拾っていただいて
大変感謝しております。

じゃあ
早く私を...



そうだ！
私を元のカラダに
戻してくれたら

私の力で
アナタを自由に
してあげるわ！

それから、アナタが
貴族になれるように
手配もしてあげる！

そうすれば
ハリスとも
結婚できる！

悪くない
話でしょ！



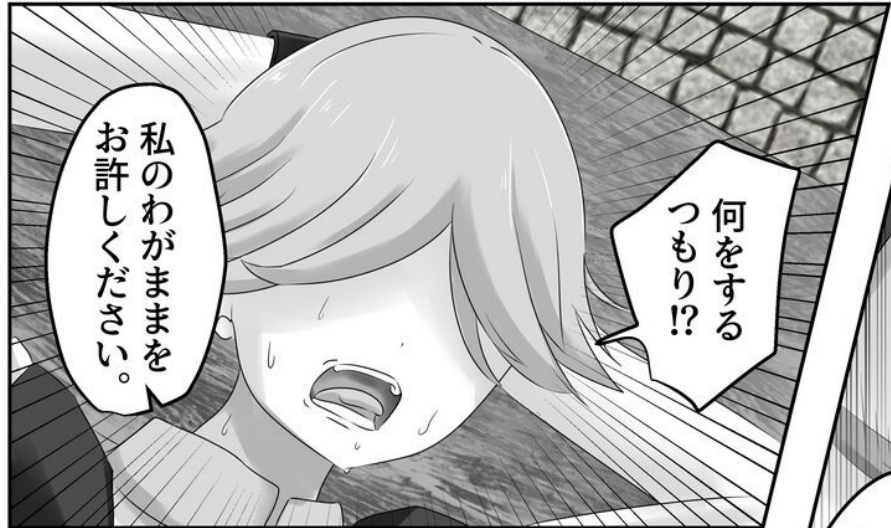
ですがこれは

ハリスさまが
私を想っての事



お嬢さま……

私も最初は
こんなことを
するつもりでは
なかったです



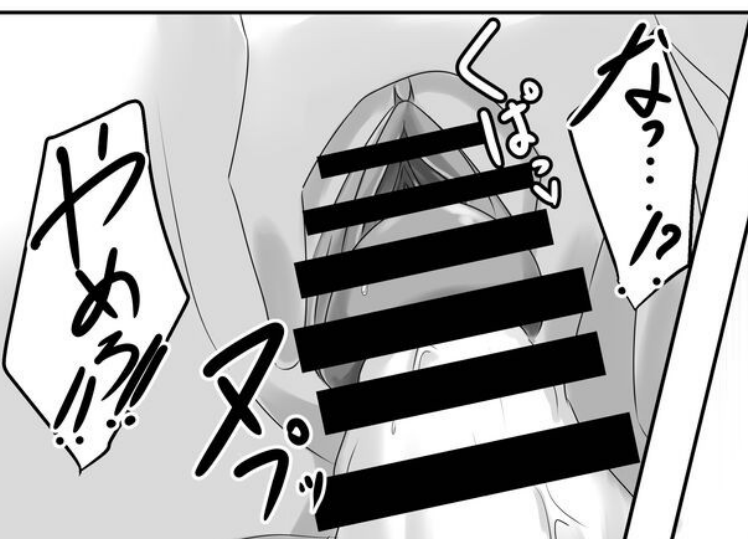
何をする
つもり!?

私のわがままを
お許しください。



私はハリスさまの
善意を無駄に
したくありません
なっ…!?

…ですが私も
自分の身体に未練が
ないわけではない。



なっ…!?

くはっ
スッ
フッ

やめろ!!



私とハリスさまの
子供を身籠って
下さいませ!!

ズブッ
ズブッ

いやッ

やめッ

いたッ

ズブッ
ズブッ



おかげで
踏ん切りが
つきました

よし

ありがとうございます



早く抜え!!

嫌!!

ズブッ

ああああ
ああああ
ああああ
ああああ





—KUNY—!!

!!

中に...!!
おんい!!
おんい!!

私のカラダで幸せに
なるなんて許せない!!

おめ

あーんい

あーんあ

あーんあ

又フッ

びく



三三三

ズググ

あーん。



なっ……!?

ボワッ

はあ

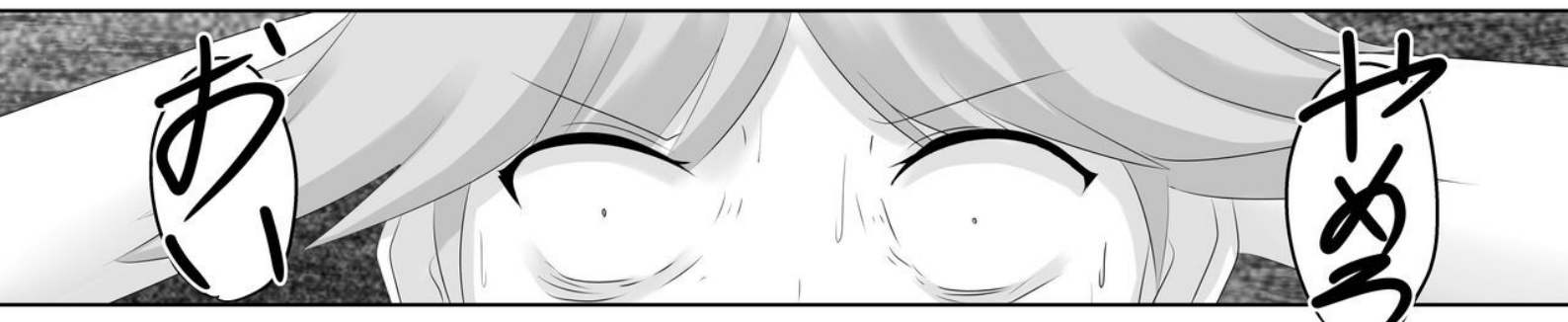
はあ

ギイイ

かしこ
まりました

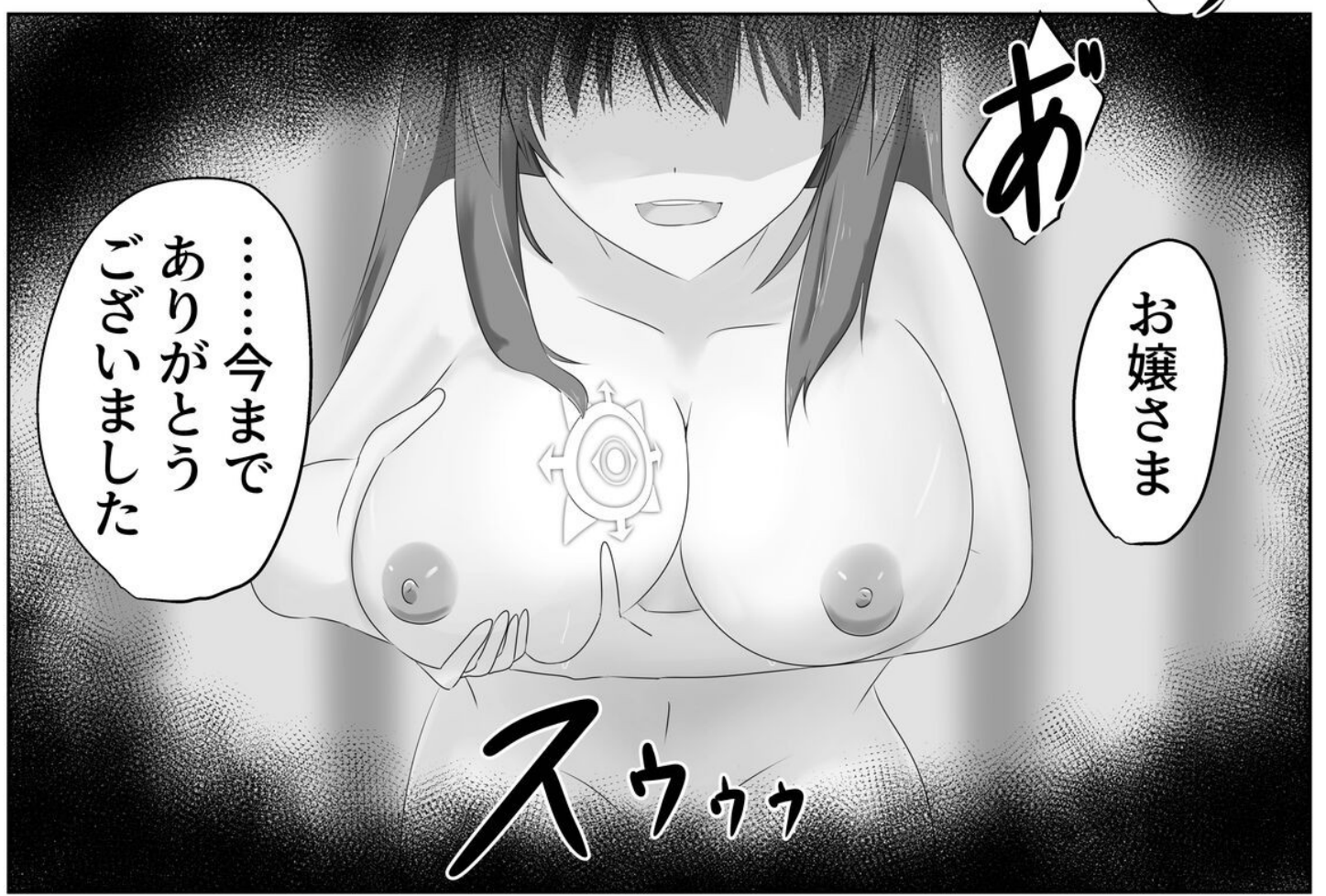


はあ
……じゃあ
頼むぞクーナ



あー

やめろ



あ

……今まで
ありがとう
ございました

お嬢さま

スウウウ

半年後

おめでとう
ハリス王子!!

結婚
おめでとう!

ソフィアナさま!!
おめでとう
ございます!!

おめでとう!!

おめでとう
ございます!!

二人も同時に
嫁を迎えるなんて
すげえな!!

あの…こんな
私なんか…
幸せに……。

ハリスさまの…
二番目の妻になっても
良いのでしょうか?

もちろん
です

あの花嫁二人から
ものすごい魔術の
痕跡を感じる…

言った方が
いいかなあ…?

これが
真実の愛!

ああ弟よ…
成長したな!!

おわり。

あとかがき

どうも!!作者です。

今作、本当は10月中に作り上げて余裕をもって販売する予定が、少し遅れてしまいました!!

それもそのはず、予定より内容がめっちゃ長くなってしまったというのが大きな理由です。

「せっかくこういうシチュエーションをするならば、あれも入れたいよね、これも入れたいよね。」という風にどんどん追加していった結果です。入れ替わりとか乗っ取りってやっぱ人物描写欲しいんですよね、僕は。まあもちろんエロ特化の入れ替わりとかでも全然いいんですけども、せっかく作るならということであんな系を入れまくってしまい、場面説明やバックストーリーをぶち込んでしまった。

今作は、よりダークな路線を突き進もうと、描く前から決めていました。DL販売中の拙作、『ゲルチェン』『入れ替わった、修学旅行』はどちらも学生系のイチャラブ入れ替わりみたいな感じでライトなんですよ。一応乗っ取りっぽいけどダークではないみたいな。ということで女の子が徹底的に嫌がる入れ替わりを作ってみました。そして、今回はサプライズ(?)的な感じでODを用意。ODの方がダークみが出ませんか?そういうわけでODをぶち込みました。あっ、ODは女同士(入れ替わり)の略語みたいなものです。ODはTSFじゃないからあまり見ない人もいるかもですが、これを機になんかいいなあと思ってもらえたら幸いです。OD乗っ取りはいいぞ。

あと、私事にはなりますが、ゲルチェンの売り上げで調子乗ったため、専業入れ替わり系同人作家になりました。(会社勤めが向いてないのでどうかこれからも拙作をよろしくお願いします。)

作者:はんげしょう

作者のTwitter:@hangesho_32

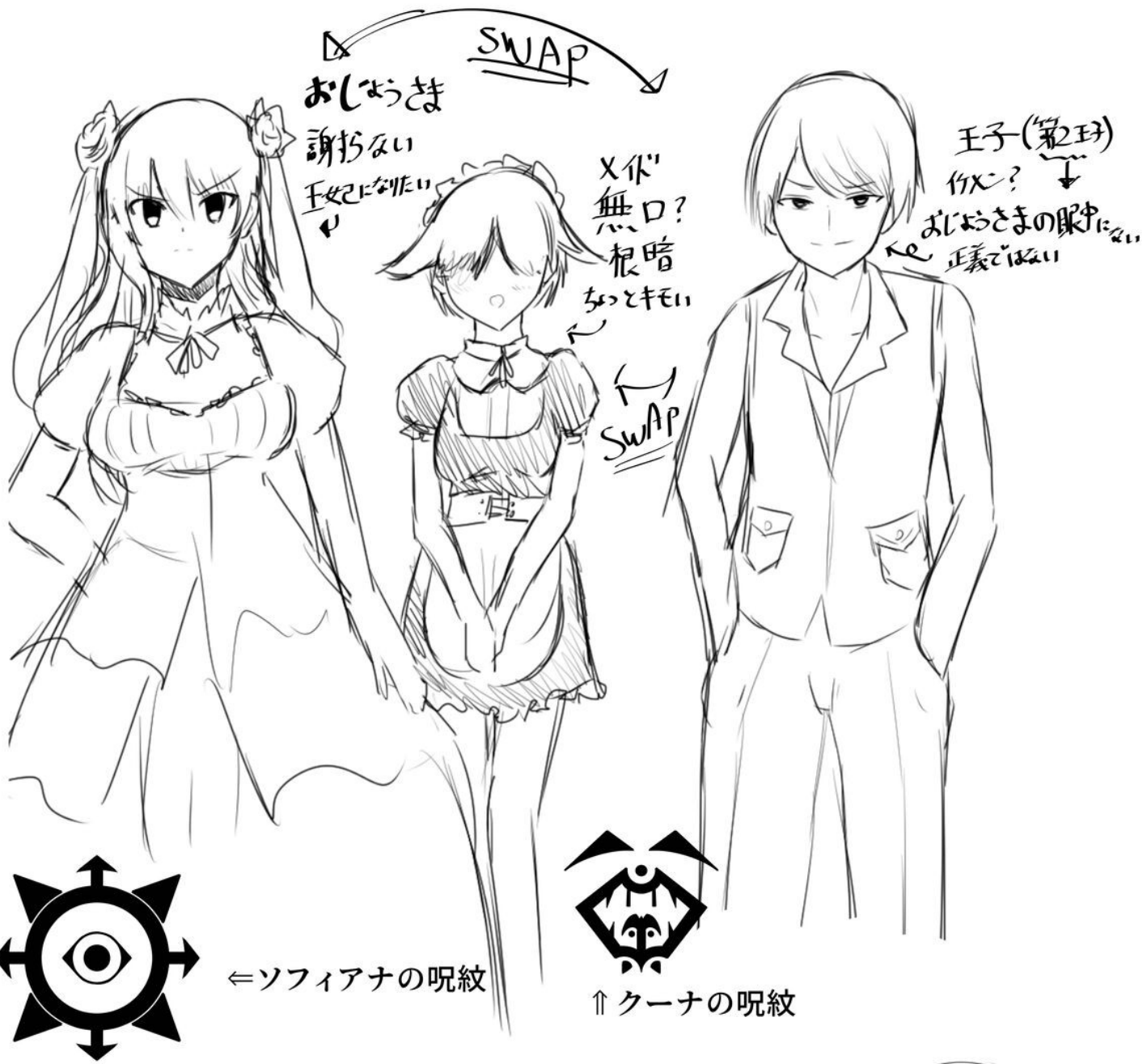


2022-11-4



バラのつもり

おまけ 初期キャラデザ案



⇐ソフィアナの呪紋



↑クーナの呪紋

衣装に関しては、ここからさらに簡略化しました。
 作画コスト軽減のためですね！
 ソフィアナさまかわいい。
 見た目的に一番描いてて楽しいのはソフィアナでした。
 何気に乳をデカくするのを意識しました。差別化大事！



ソフィアナはツインテールじゃなく
 ツーサイドアップやで。